

第3回 松江圏域県管理河川に関する減災対策協議会 議事概要

1. 日 時 : 平成30年5月24日(木) 11:00~12:00

2. 場 所 : 島根県民会館 3階 305会議室

3. 出 席 者

(協議会委員)

松江市 : 松江市長(代理 副市長)

安来市 : 安来市長(代理 総務部長)

国土交通省 : 出雲河川事務所長

気象庁 : 松江地方气象台長

島根県 : 松江県土整備事務所長

広瀬土木事業所長

(オブザーバー)

島根県 : 防災部防災危機管理課

島根県 : 土木部河川課

4. 挨 拶 : 松江県土整備事務所長

5. 幹事会報告

・経過報告

6. 議事

・「松江圏域県管理河川に関する減災に向けた地域の取組方針のフォローアップ」
について

7. その他(情報提供)

・「改善された防災気象情報と大雨事例」

8. 議事結果

平成29年度の実施状況報告、平成30年度の実施予定、今後のスケジュールについて協議会に諮った。その結果、協議会構成員の賛同を頂くとともに、減災に向けて各機関が協力して取り組みを推進していくことを確認した。

9. 意見交換概要

【松江市副市長】

昨年9月の台風18号の際にはホットラインなど、上手く連携できたと思っている。

意宇川については、土砂堆積、立木が原因ではないかとの住民からの声が上がっており、危機感を持っている。県の予算の拡充及び、国の支援策の検討をお願いしたい。

【松江県土整備事務所長】

台風18号の際にご協力いただき感謝する。今後も地域の減災に向けた協力をお願いしたい。

維持修繕は限られた予算の中で優先順位を付けて実施していく。要望箇所（意宇川立木伐採）については、今年度対応予定。

【松江市副市長】

松江市街地では、昨年の7月の大雨被害を受けて緊急要望（末次ポンプ場の水門の自動化）をしたところ。これについても住民からの強い要望が上がっている。

【松江県土整備事務所長】

当面の対策は河川改修を進めることになるが、改修には時間がかかるので、昨年度と同じような雨でも同様な被害が発生しないよう、出来る事から実施していく。

【安来市総務部長】

6月20日防災訓練の時間はどの程度を想定しているか。

【事務局】

午後（4時間程度）を考えている。市が関連するのは情報伝達訓練の一部になる。部長等の幹部が対応できない場合は、課長等での対応をお願いしたい。広瀬土木事業所も同時に実施する予定。

【松江県土整備事務所長】

昨年9月の台風18号の際は、気象レーダー等を見て今後の降雨を予想しながら松江市にホットラインしたが、気象台からの情報があったほうが判断しやすい。

【松江地方気象台長】

気象台から市町村へのホットラインも開設している。また、他の機関からのお問合せにも専門官が説明するので、気兼ねなく気象台に連絡いただきたい。